

来年度以降の活動について

令和元年 11 月 20 日

講座総括担当(鎌田)

1. 初めに

皆様のご協力を得て、各教室各講座とも予定通り進めて頂いているところです。改めて皆さんの活動に対してお礼申し上げます。

ご参加いただいている多くの方は、「まほろばシニアリーダーカレッジ」の修了者であり、カレッジで学んだことを実践し、楽しく・生きがいを感じながらご参加いただいていると思っています。

皆さんは本会の活動以外にも多くの活動をされ、それぞれの活動を楽しまれているのではないのでしょうか。私は12年前に生まれ故郷の大和に帰って来て皆さんと出会い、皆さんのご協力とご支援を頂き、本会の活動に専念をして多くの生きがいを頂いており感謝しています。

皆さんとともに活動を進めてまいりました「六樹会シニアパソコン教室」も今年10年目に入りました。平均年齢も10歳高くなり一番若い方も70歳を超えたかと思えます。ある意味では一区切りではないのでしょうか。基本的には「来年度も今年度と同様に活動を」と考えていますが、以前、「榎原教室10期生の募集が一区切り」とお話をしたこともあり、来年度以降の活動方法について現状を踏まえて取りまとめました。私としては、できる限り健康なうちは1年でも長く活動を行いたいと思っていますが、今一度皆さんのお考えをお聞きしたいと思います。

2. 将来展望について

本会の「六樹会シニアパソコン教室」は、一般のパソコン教室とは大きく異なっています。一般のパソコン教室は、基本的には教室のみの対応だけではないのでしょうか。

私の知る範囲ですが、町のパソコン教室では教室備え付きのパソコンを使用して自習学習をして、質問があれば講師が対応する教室もあります。また、以前参加をさせて頂いた NPO 法人では、講座を進める上では受講生の理解に関係なく決められカリキュラムを淡々と説明をして終えていました。そして自宅対応等個人対応は厳禁されていました。あくまでも受講生のことを本当に考えている教室は少ないのではないのでしょうか。

本会は、「受講生第一に」をモットーに教室での講座だけでなく自宅学習の重要性を考えて、添削指導や自宅サポートを行っています。このような活動がいつまで出来るか考えておく必要があります。

本会の活動において大きな役割を担当している三役はカレッジの6期生です。そして、実際の活動はカレッジ8期生が中心です。また、6期生と8期生の平均年齢は6歳の差があり、本会としてはまだまだ先長く活動を続けて行けるのではないのでしょうか。現在の三役が一部身を引いてもパソコン教室の開催方法を見直し、8期生中心に長く活動を行って頂きたいものです。

3. 受講生の変化

この1~2年の基礎科の応募者に若干変化が見られます。教室ごとに分析をすると榎原教室は多い時には50名弱の応募がありましたが、昨年度=37名、本年度=22名であり、特に今年度の受講生には問題の多い人もおり講座運営上問題が出ています。宇陀教室も同様であり、昨年度=17名、本年度=19名であり、地域的なキャパシティを考えた時、今後の募集をどのようにすべきか見直しの時期に来ているのではないのでしょうか。

香芝教室は、開講以来関係者の口コミで応募を頂き、ほぼ毎年無抽選で受講生を決定しちるころであり、地域的なキャパシティを考えるとまだまだ受講希望者がおられるのではないのでしょうか。

それ以外に宇陀教室は今年の基礎科の受講生15名中8名が再受講生です。榎原教室、香芝教室にも2~3名の再受講生がおられます。また、相談サロンの受講生の半数がほぼ固定であり、一度本会で学んだ方々は本会の良さをよく知っており、何度も再受講されているのではないのでしょうか。また、相談サロンに参加されていない方からもパソコンに関する問合せがあり、多くの方がパソコンを楽しまれているところであり、ご連絡・ご相談を頂いたその都度対応しているところです。

4. 来年度以降の活動について(案)

来年度の活動は基本的に今年度と同様に考えていますが、来年度以降、今まで通りの募集をいつまで行うのか、また、応用科修了生の対応をどのように対応するかを考えておく必要があります。また、NPO法人としていつまで活動を行うかも考える必要があります。

いずれ活動の見直しが必要であり2項3項を念頭に少し考えてみたいと思います。なお、検討はあくまでも現在の会員全員が活動を続けられることが前提であり、もし、多くの方が活動を控えた場合は、当然残った会員でどのような活動を行うか、見直しが必要です。

(1) 新しい基礎科の開設

2項の「将来展望について」で述べたように、本会の活動を長く行うためには、町のパソコン教室と同様に、受講生対応は教室のみとして身軽な活動に切り替えてはいかがでしょうか。

具体的な方法としては、募集は今までと同様に行い、テキスト等講座内容も同じにします。但し、募集に際して受講生に準備して頂くパソコンは Windows10搭載パソコンに限定します。(ただし、講座を進める上ではパソコン環境の整備を行う方が良いでしょうから、私が活動を行っている間に対応したいを思います。)

この様な「新しい基礎科」を開設し、いつから募集を行うか意識合わせが必要です。

(2) 研修科の開設

3項の「受講生の変化」で述べた再受講生対応として、宇陀教室と香芝教室に応用科修了生を対象とした研修科を開設しては如何でしょうか。相談サロンは現状のまま残し、研修科を設けることにより再受講生のより便宜を図ることが出来るかと思います。

研修科の講座内容等運営方法は応用科と同じであり、各教室ともに12名から16名とします。応募者が10名を切れればその教室の研修科の終わりです。

なお、研修科の開設いかんにかかわらず来年度の応用科は、「Wordの学習(総合問題)」のテキストをなくして、「Wordの学習(応用)」に組み込もうと思います。「Wordの学習(応用)」のカリキュラム内容と榎原教室応用科の日程は別紙1と別紙2のとおりです。

(3) 活動計画案(案)

上記の2項目を想定した活動計画案は次の通りです。具体的には教室ごとにご判断ください。

案	次年度	次々年度	次々年度以降	備考
1案	基礎科 応用科 相談サロン	応用科 相談サロン	相談サロン	現状維持の案です。 そして、毎年度教室ごとに募集を行うか否かの判断が必要です。
2案	基礎科 応用科 相談サロン又は研修科	応用科 相談サロン又は研修科	相談サロン又は研修科	研修科開設の案であり、応用科修了生に対して相談サロンもしくは研修科で対応します。 そして、毎年度教室ごとに募集を行うか否かの判断が必要です。
3案	基礎科(新) 応用科 相談サロン又は研修科	基礎科(新) 応用科(新) 相談サロン又は研修科	基礎科(新) 応用科(新) 相談サロン又は研修科	未長く活動するために受講生対応の見直しを行い、新しい基礎科・応用科を開催するとともに応用科修了生に対して相談サロンもしくは研修科で対応します。来年度からではなく、1案2案から何年度に切り替えるか見当が必要です。

(4) 最後に

本日の意識合わせのために色々書き止めたのですが、皆さん一人一人、この先数年のご自身の活動と本会としての活動について今一度振り返り、十分に意見交換をして頂きたいものです。そして横尾さん中心に取りまとめて頂き、来月の臨時総会に提案をして、来年度以降の活動を進めたいと思いますから、よろしくお願ひします。

令和2年度「Wordの学習(応用)」目次検討

章	題名	区分	内容
第1章	Wordとは	作成課題	テニス大会の案内(基礎科)
		練習問題1	親子ソフトボール大会のご案内(総合練習問題)
		練習問題2	お手紙(総合練習問題)
		練習問題3	写真展(基礎科)
第2章	文書作成の流れ	作成課題	通常総会のお知らせ
		練習問題1	様々な文字の書式設定
		練習問題2	招待状
		練習問題3	お品書き(総合練習問題)
第3章	報告書を作ろう	作成課題	報告書
		練習問題1	定期健康診断
		練習問題2	テニス大会(総合練習問題)
		練習問題3	レシピー(総合練習問題)
第4章	説明文の作ろう	作成課題	温泉旅行
		練習問題1	新築マンション
		練習問題2	プラネタリウム
		練習問題3	地震に備える
第5章	チラシを作ろう	作成課題	ナイトサファリー
		練習問題1	オープンカフェ・スズラン
		練習問題2	ワークショップ
		練習問題3	四人展(総合練習問題)
第6章	イラストを作ろう	作成課題	イラストを描こう
		練習問題1	ウイングラス・てんとう虫・蜂
		練習問題2	果物かご
		練習問題3	マイホーム(総合練習問題)
第7章	ポスターを作ろう	作成課題	ポスターを作ろう
		練習問題1	秋祭り
		練習問題2	感謝祭
		練習問題3	香芝まほろばコーラス(総合練習問題)
第8章	アルバムを作ろう	作成課題	アルバムを作ろう
		練習問題1	絵葉書
		練習問題2	花の文化園
		練習問題3	写真の合成
第9章	パンフレットを作ろう	作成課題	パンフレットを作ろう
		練習問題1	大和三山
		練習問題2	料理は大好き(総合練習問題)
		練習問題3	ピアノ&ランチ(総合練習問題)
第10章	Wordの総合練習	作成課題	テキストの階層構造
		練習問題1	感謝状(総合練習問題)
		練習問題2	布留遺跡巡り(総合練習問題)
		練習問題3	男の料理教室(総合練習問題)

(注) 内容の末尾の(〇〇)は出典元

檀原教室10期生 応用科日程表(案)

回	日程	テーマ	内容	回	日程	テーマ	内容
第1回	4月8日	パソコンを学ぶこととは (Windows)	パソコンの仕組み(GUI)と基本操作について学び、応用科の学習方法を確認します。	第13回	10月14日	イラストを作ろう (Word)	グラフィックス機能の「図形」を使用して様々なイラストを描きます。
第2回	4月22日	文字入力(Ⅱ) (Windows)	今一度、マウスとキーボードの練習を行うとともに、文字入力方法を復習します。	第14回	10月28日	ポスターを作ろう (Word)	グラフィックス機能のワードアートおよびテキストボックスの操作について学びます。
第3回	5月13日	Wordとは (Word)	Wordの基本的な機能の確認のために、基礎科のテキストの復習をします。	第15回	11月11日	年賀状を作ろう (年賀状講座)	パソコンを学ぶ者として年賀状作成は大きなイベントです。作って楽しい、貰って嬉しい年賀状を作成しましょう。年賀状は、主にグラフィックス機能で作成します。インターネットでイラストを検索して使用しましょう。
第4回	5月27日	もっとインターネットを活用しよう(Windows)	「Edge」の機能を今一度復習して、インターネットの鉄人になりましょう。	第16回	11月25日		
第5回	6月10日	ファイル管理 (Windows)	ファイルとフォルダの操作(ファイル管理)は、ある意味ではパソコンの整理学です。	第17回	12月9日	住所録を印刷しよう (年賀状講座)	年賀状のあて名書きのソフト「筆ぐるめ」の操作を学びます。
第6回	6月24日	文書作成の流れ (Word)	Wordの学習(応用)に入るに際して、Wordの基本的な操作の流れを復習します。	第18回	12月23日	計算式の復習 (Excel)	Excelのメイン機能である様々な計算式を復習しましょう。
第7回	7月8日	報告書を作ろう (Word)	Wordの表機能の復習を兼ねて、書式設定の基本操作の整理を図ります。	第19回	1月13日	Excel(基礎)の復習 (Excel)	基礎科で学んだExcelについて復習をして、Excelの基本操作を身に付けましょう。
第8回	7月22日	説明文を作ろう (Word)	Wordでは、複数ページに渡る長文の編集が可能です。文書の構成機能の説明をします。	第20回	1月27日	もっと練習をしよう。 (Excel)	他も同じですが、Excelを身に付けるためには多くの練習が必要です。少し複雑な練習問題を教室で学びます。
第9回	8月12日	チラシを作ろう (Word)	これまで学んだ機能を使用して、様々なチラシを作ってみましょう。	第21回	2月10日	家計簿をつけよう (Excel)	家庭でつける家計簿や組織でつける会計簿の付け方と分析を学びましょう。
第10回	8月26日	Windows10の設定 (Windows)	Windows10の「設定」について説明をします。使い勝手のよいパソコンの整備をしましょう。	第22回	2月24日	アルバムを作ろう (Word)	Wordのグラフィックス機能(画像)を用いて、アルバムを作りましょう。
第11回	9月9日	Windows10のアプリ (Windows)	Windows10に付属しているアプリの紹介をします。パソコンでの作業を広げましょう。	第23回	3月10日	パンフレットを作ろう (Word)	グラフィックス機能の「図ツール」「描画ツール」について、まとめのお話をします。
第12回	9月23日	画像処理の概要 (Windows)	パソコンの楽しみの一つとしてデジカメやスマホで撮影して写真の加工・編集をしましょう。	第24回	3月24日	Wordの総合学習 (Word)	グラフィックス機能のスマートアートの使用方法を学ぶとともに高度な文書の編集を行いましょう。

(注) 時間は午後1時30分から4時まで、会場は奈良県社会福祉総合センターです。進捗状況によりテーマは変更になる場合があります。